

平成 30 年度 海外科学館視察研修  
実施報告

日 程 2019年2月18日(月)～2月22日(金) 4泊5日

視 察 先 香港、マカオ、台湾

参 加 者 数 7名

公 式 訪 問 先 香港科学館、マカオ科学館、国立台湾科学教育館

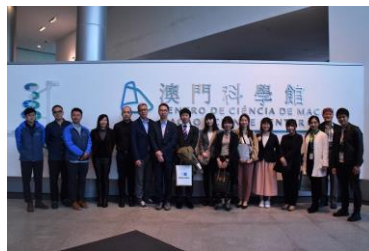
研 修 目 的 2012年度以来のアジア地域への視察研修である。中国をはじめアジアの科学館は大型化やリニューアル、新館のオープン等により、国内外から多くの来場者を誘致している。香港、マカオ、台湾はそれぞれに特徴的な活動をしているため、科学館として何を目指し、どのような展示を行い、来場者にどのようなアクティビティやプログラムを提供しているのかについて直接意見交換しながら学ぶ機会を提供する。

研 修 成 果 公式訪問先とは事前に調整した上で訪問したため、役員をはじめ、教育担当者、展示担当者などのスタッフと直接密に意見交換する機会を得た。香港科学館は、観光地という立地もあり中国、マカオ、韓国などからの来場者も多く、世界に開かれた科学館としてのミッションを遂行しており、次世代育成のための展示なども充実していた。マカオ科学館も同様に、観光やカジノで産業が成り立っている中、科学館としてSDGs達成に向けたアクティビティやSTEAM教育の推進を積極的に行っていた。台湾科学教育館では、台湾全土への出前授業やサイエンスフェアの実施、国際交流など、人材育成に向けて幅広い取り組みを実施していた。

3都市の科学館ともに、地域科学館としてのミッションと、多くの海外からの来場者を迎え入れるグローバルなアクティビティ（SDGs など）を展開する両側面を持っており、来年東京オリンピックを迎える日本として、今後の地域科学館の在り方を検討するにあたっては、大変学びの多い視察となった。また、各訪問先では、さまざまな部署の担当者とネットワークが構築できたので、今後の活動に繋げていきたい。



香港科学館での意見交換の様子



マカオ科学館での集合写真



台湾科学教育館での意見交換の様子